

謹賀新年



平成23年1月 市川商工会議所



年頭所感

市川商工会議所 会頭 片岡直公

平成23年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

会員事業所の皆さまには、日ごろから商工会議所の運営に対し多大なるご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝を申し上げますとともに、皆さまの事業のますますのご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。

また昨年の役員改選にあたり、多くの皆さまからご支持を賜り、再任いただきましたことは身に余る光栄であり、改めて身の引き締まる思いであります。

これまでの2期6年の間、工業団体との連携強化、市川商工会議所創立60周年記念事業、市川市プレミアム商品券発行事業、いちかわ産フェスタを中心とした市内商工業の活性化事業など、皆さまのご協力により目標どおり達成することができました。今後もより一層努力してまいります。

さて我が国の経済は、一部の経済指標に持ち直しの兆しがみられるものの、長引くデフレと急激な為替の変動、失業率の高水準により、中小企業や地域経済にとって極めて厳しい状況が続いております。中長期的にみても少子高齢化、人口の減少、財政再建、社会保障制度のあり方、グローバル化の進展、環境規制の強化などの諸課題を抱えている現状であります。

このような中で、地域総合経済団体である商工会議所の果たす役割は大変重要であり、その使命と責任の重さを痛感しております。また地域経済の活性化は商工会議所だけで達成することはできません。地域商工業者の代弁者として国・県・市に対する要望事項の実現に向けての働きかけとともに、これまで以上に行政や地域の関連団体との連携をより強化していかなければならないと考えております。そして開かれた商工会議所、皆さまから愛される商工会議所になるよう、役員・議員・職員とが一体となって努力してまいります。皆さまのより一層のご理解とご支援をお願いするところであります。

本年は昨年11月に改選された第22期の本格的なスタートの年であり、会員事業所の皆さまが厳しい経営環境を克服し、活力ある成長と発展を遂げられるよう、さまざまな事業活動を展開してまいります。主な事業について

はつぎのとおりです。

1. 広報活動の充実による情報発信とIT活用の推進
・毎月発行の会報やホームページに行政インフォメーションを掲載し、きめ細やかな情報を提供する。
2. 商工業振興事業の実施
・部会、委員会活動を通じ、視察・研修会・ビジネス交流会などを実施し、元気な企業の復活を目指す。
3. 中小企業・小規模事業者対策の充実、強化
・市内小規模事業者等の経営・金融・税務・財務サポートの支援。
4. 商店会活性化に向けたまちづくり並びに商業振興支援
・消費者の購買欲を促進するため「まごころサービス運動」をスプリングセール事業として実施。
5. 市内産業のビジネスチャンスの拡充
・市内産業の活性化を図るため「いちかわ産フェスタ」事業の実施。
6. 地域ブランド事業の実施による商業活性化
・市川市の特産である「市川の梨」「三番瀬の海苔やアサリ」などの地域資源を活用した商品等のPRおよび地域ブランド品開発事業のサポート。
7. 地域イベント支援事業の実施
・「夏の風物詩」として市民に親しまれている「市川ほおずき市」など地域イベント事業への協力、支援。

また、市川市のまちづくりと商工業の活性化を図る上で大変重要な課題である、東京外かく環状道路（千葉県区間）の平成27年度全面開通に向けて、関係諸団体とともに要望活動を展開してまいります。

結びに、皆さまにとりまして、本年が明るく希望に満ちた年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



年 頭 所 感

市 川 市 長 大 久 保 博

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと存じます。

世界的な金融危機による景気後退から、未だ明るい兆しが見出せない状況が続く中、本市の地域経済を支える多くの中小企業の方々の今を支え、また、将来の発展につなげていくため、私は、一昨年の市長就任以来、市政運営の重点施策に産業振興を掲げ、様々な施策に取り組んでまいりました。昨年7月には、経済対策担当理事を民間より公募し、より事業者のニーズに基づく施策展開を図っているところであります。

各種商工業振興施策の実施にあたりましては、市川商工会議所との連携が、車の両輪にも例えられますように、必要不可欠なものであると認識するとともに、深く感謝しているところであります。

さて、迎える平成23年度は、基本構想に定めた将来都市像である「ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ」の構築に向けた、新たな10年間の指針となる第二次基本計画のスタートに当たる年であります。

計画の中では、「環境」や「安全・安心」といった10の視点への配慮を位置付け、事業効果の向上と機能強化を図ってまいりますが、この重要な視点のひとつとして「地域経済の活性化」を加えることで、市の様々な施策に、経済的視点という横串を通していきたいと考えております。

地域経済の活性化という観点から見れば、個々の産業の活性化に加えて、様々な産業が連携することにより、新たなビジネスチャンスが生まれ、販路が拡大し、本市の産業基盤の強化を図るだけでなく、将来的な雇用の創出にもつなげていきたいと考えております。

また、人口減少社会が現実のものとなった今、訪れてみたい、住んでみたいと思っただけの方を獲得するための、本市のブランド力を向上させる取り組みにも、商工業のみならず、農業、水産業、観光など、様々な産業分野との総合的な連携が必要であろうと考えております。

そこで、市では現在、産業の振興に関する基本的な事項を定め、産業基盤の安定及び健全な発展を促進することにより、地域経済の活性化に寄与することを目的とした「産業振興基本条例」の策定作業を進めているところであります。

その中では、事業者、経済団体、市民、市の役割について位置付け、それぞれの役割に応じた知恵と力を出し合うことで、産業振興を図っていく仕組みを構築したいと考えております。

その意味からも、地域における経済団体のリーダーである商工会議所の役割は、今後ますます重要なものとなってまいります。

将来にわたる市川のまちづくりの担い手として、これまで以上に積極的な事業者への支援及び時代のニーズに即応した産業振興策の推進において、その役割に大いに期待するところであります。

市川商工会議所のますますのご発展と、会員各位のさらなるご繁栄を心から祈念いたしますとともに、今後とも本市行政にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。



平成23年 知事年頭あいさつ

千葉県知事 森田 健作

新年あけましておめでとうございます。

商工会議所並びに会員事業所の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、ゆめ半島千葉国体・ゆめ半島千葉大会が開催され、大成功のうちに幕を閉じることができました。千葉県選手団は、千葉国体では天皇杯、皇后杯獲得の完全優勝を、千葉大会でも過去最高の成績を収めました。また、620万県民が一丸となって、全国から来県した方々を「最高の笑顔」と「心のこもったおもてなし」でお迎えすることができました。商工会議所と会員事業所の皆さまにはこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。

両大会を通じて培ったすばらしい経験を千葉県の財産として活かし、これからも多くの方々に「千葉に来てよかった」「また千葉に来たい」と言ってもらえるよう、魅力あふれる千葉県づくりに取り組んでまいります。

なお、両大会のマスコットとして大活躍した「チーバくん」は、今年1月から本県のマスコットキャラクターになりました。これからも本県が誇る様々な魅力発信での活躍に期待しています。

さて、今年は、総合計画「輝け！ちば元気プラン」の2年目となります。県では、総合計画の基本理念である「暮らし満足度日本一」の実現を目指し、各重点施策や取組を着実かつ効果的に実施してまいります。

経済の活性化は、総合計画が目指す目標の一つです。

昨年、年間発着枠が22万回に拡大した成田国際空港は、成田スカイアクセスの開業によりその利便性が大きく向上しています。さらに年間発着枠30万回への拡大に向けての合意も実現し、今後さらなる飛躍が期待されます。この成田国際空港の持つ高いポテンシャルを生かし、千葉県の飛躍拠点として県内経済活性化に取り組んでまいります。

東京湾アクアラインについては、料金引き下げの社会実験後の交通量が実験前に比べて約1.5倍に増加し、南房総地域を中心に観光客が増えるとともに、アクアラインの着岸地をはじめ企業の立地も進んできています。県では、「東京湾アクアライン活用戦略」に基づき、関係市町村とも連携しながら企業誘致の促進や観光の振興、関連道路網の整備推進など、県内経済に大きな成果が出るよう取組みを進めてまいります。

一方、近年の厳しい雇用・経済情勢を受け、特に若年層等の正規雇用は大変厳しい状況にあります。国では昨年11月末に4兆85百億円に上る補正予算を成立させたところですが、県としても「千葉県総合経済対策」に基づき、国と呼応する形で、緊急雇用対策の実施など雇用の場の創出や就業支援に引き続き取り組むなど、切れ目のない総合的な経済対策を実施してまいります。

本年も、皆さまとともに、「暮らし満足度日本一」を実感いただける千葉県づくりを目指して、全力で県政運営に取り組む所存です。御支援、御協力をお願いいたします。



『個が光るイノベーション』で

日本経済復活の礎を

日本商工会議所 会頭 岡村 正

平成23年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

中小企業の活力強化で真の成長実現へ

世界経済は先進国において回復の動きが緩慢なものの、多くの新興国では内需の拡大が続いており、総じて緩やかな回復傾向にあると言えます。一方、日本経済は、昨年前半に持ち直しの動きが見られたものの、現在は足踏み状態が続いています。今後、景気の持ち直しが期待されるものの、デフレの影響に加え、依然として高い為替水準など、先行きの不透明感は払しょくできておりません。

こうした中、日本経済が自律的な景気回復を果たし、持続的な成長を実現するには、政府が策定した「新成長戦略」の具体化に、官民一体でスピード感を持って取り組むことが重要です。中でも、地域経済と雇用を支える中小企業の活力強化なくして、真の成長実現はあり得ないと考えています。私は、新成長戦略実現会議などの場を通じて、中小企業を「新成長戦略」実現の中核的な担い手として位置付け、中小企業が参画できるより多くのプロジェクトが具現化されるよう働き掛けてまいり所存であります。

勇気を持ってイノベーションに挑戦を

さて、私は、昨年11月に会員各位のご推挙をいただき、引き続き日本商工会議所会頭の任を務めさせていただくことになりました。中小企業の活力強化と地域経済の活性化という商工会議所の不変的な使命の下、「企業、地域、そして社会から、より多くの支持と信頼が得られる商工会議所」を具現すべく、全国の商工会議所の皆様の先頭に立って全力でまい進する所存です。

特に、グローバル化の進展に伴う世界経済の構造変革の中で、地域や企業が潮流変化に的確に対応すべく、勇気を持ってイノベーションに挑戦するための取り組みに注力してまいりたいと考えております。

商工会議所運営の3つの基本方針

地域経済の活性化や中小企業の活力強化に向けては、商工会議所自らが、これまで以上に取り組みを強化・推進することも重要であります。このため、私は再任にあたり、商工会議所の運営について、3つの基本方針を示させていただきました。

第一は、現場主義の徹底です。私は会頭就任以来、「現場に立脚した活動こそが、商工会議所の『原点』であるとともに、『強み』である」と考え、可能な限り各地を訪れ地域の実情を直接伺い、意見交換することに努めてまいりました。

地域経済の活性化を実のあるものに具現するためには、この地域をどのような形にするのか、という「ビジョン」を、企業・市民・行政が共有しなければなりません。商工会議所が地域の核として先頭に立ち、コーディネーターの役割を果たす必要があり、そのためにも、地道な「全会員訪問」活動を通して、「現場の生の声」を意識していきたいと存じます。

第二は、潮流変化に対峙するイノベーションの推進です。世界的な潮流変化の波が押し寄せる中、中小企業は生き残りを懸けてイノベーションに取り組まなければならない時代を迎えています。

世界経済の一体化が進む中、中小企業も積極的に海外展開を図っていくことが求められています。日商では昨年を「国際化元年」と位置付けて、APEC中小企業サミットの主催等をはじめ、さまざまな取り組みを進めてまいりました。本年は「中小企業国際化支援特別委員会」を中核として、商工会議所のグローバルネットワーク化を進め、会員企業や地域の国際化への取り組み支援を強化していく所存です。

また、市場競争力を強化するためには、生産性向上が不可欠であります。ITを戦略的に活用し、具体的な業務改革に結び付けるべく、「IT経営推進専門委員会」を新設いたしました。この委員会を中心に、本格的なIT経営導入とさらなるイノベーションを促進させたいと考えております。

基本方針の第三は、商工会議所自身の「組織イノベーション」です。商工会議所自らが活動理念や組織のあり方を見直し、潮流変化に対応する態勢を整えていかなければなりません。日商と各地商工会議所のネットワークをより強固なものとし、広域連携や農工商連携など、商工会議所の連携活動をさらに進めてまいります。

本年は第28期の実質的なスタートの年であります。これら基本方針に沿った取り組みを鋭意進めるとともに、着実な成果の積み重ねに努めてまいり所存です。同時に、大きな潮流変化に直面している時代だからこそ、商工会議所の原点に立ち返る必要があります。「商工業者の声を集約し社会に訴える」という渋沢栄一翁の思いを堅持し、日本経済の礎を築くべく、「個が光るイノベーション」の推進に注力していきたいと考えます。

結びに、皆様のご発展とご健勝をお祈り申し上げますとともに、商工会議所活動に対する一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

新年あけまして おめでとうございます



市川商工会議所 副会頭 片岡 直公	市川商工会議所 副会頭 田嶋 誠	市川商工会議所 副会頭 佐久間 信夫	市川商工会議所 副会頭 石井 邦夫	市川商工会議所 副会頭 中村 政勝
市川商工会議所 顧問 大久保 博	市川商工会議所 顧問 金子 和夫	市川商工会議所 顧問 米山 精次	市川商工会議所 顧問 佐藤 フジエ	市川商工会議所 顧問 長島 洋三
市川商工会議所 顧問 芝田 太市	市川商工会議所 顧問 宇田川 進	市川商工会議所 参与 小島 武久	市川商工会議所 参与 鈴木 衛	市川商工会議所 参与 芝田 康雄
市川商工会議所 参与 竹内 清海	市川商工会議所 参与 稲葉 健二	市川商工会議所 参与 鈴木 啓一	市川商工会議所 参与 増田 三郎	市川商工会議所 専務理事 永池 一秀
市川商工会議所 常務理事・事務局長 戸坂 幸二				

<p>アクサ生命保険(株)船橋営業所市川分室</p> <p>営業所長 森岡 武彦</p> <p>市川市南八幡二・二一・一 市川商工会議所 4階 〇四七・三七八・二六九一</p>	<p>(株)秋元</p> <p>代表取締役 秋元 卓哉</p> <p>市川市国分二・八・二三 〇四七・三七四・〇一一三</p>	<p>(株)アービック</p> <p>代表取締役 加藤 泰寛</p> <p>市川市市川一・二・三・九 〇四七・三二二・五五〇一</p>	<p>(株)アーバンホーム</p> <p>代表取締役 松井 玲子</p> <p>市川市南八幡五・一七・二二 〇四七・三七七・二九一一</p>	<p>啓成そろばん</p> <p>鈴木 啓一</p> <p>〇四七・三九七・六九六一</p>
<p>(株)市川環境エンジニアリング</p> <p>代表取締役 社長 石井 邦夫</p> <p>市川市田尻二・一・二五 〇四七・三七六・一七一</p>	<p>市川青色申告会</p> <p>会 長 中臺 實</p> <p>市川市八幡一・二・二〇 〇四七・三三三・〇一一一</p>	<p>(株)和泉家石材店</p> <p>代表取締役 和泉 匡英</p> <p>市川市大野町四・二四五二 〇四七・三三七・七三三一</p>	<p>(株)石原</p> <p>代表取締役 社長 石原 昌幸</p> <p>船橋市薬円台五・二・五 〇四七・四六三・一一一〇</p>	<p>(株)天乃家石材店</p> <p>取締役 会長 天野 一雄</p> <p>市川市大野町四・二四六三 〇四七・三三七・八九一九</p>
<p>SKバンケット</p> <p>代表 表 角能 奈緒美</p> <p>市川市南八幡四・一五・六四〇四 〇四七・三七九・〇五五六</p>	<p>市原企業(株)</p> <p>代表取締役 社長 山崎 敬生</p> <p>市原市青柳二・一・二三 〇四三六・二一一・八一〇〇</p>	<p>(株)市川ビル</p> <p>代表取締役 社長 田平 和精</p> <p>市川市市川一・四・一〇 〇四七・三二五・二二八一</p>	<p>市川市農業協同組合</p> <p>代表理事 組合長 小泉 勉</p> <p>市川市北方町四・一三五二二 〇四七・三三九・一一一一</p>	<p>市川地所(株)</p> <p>代表取締役 市川 康子</p> <p>市川市菅野五・三・二八 〇四七・三二一・一一六六</p>
<p>(有)オフィスティースカイ</p> <p>代表取締役 久保 裕司</p> <p>市川市塩焼三・四・二一 ・一〇一・バオ行 徳 〇四七・三九六・一八八一</p>	<p>(株)大城組</p> <p>代表取締役 社長 佐々木 建雄</p> <p>市川市真間三・一〇・二三 〇四七・三二二・一一六六</p>	<p>エムジーマリン(株)</p> <p>代表取締役 齊藤 紀幸</p> <p>市川市大和田二・一九・六 〇四七・三七〇・一五〇一</p>	<p>(株)MSプランニング</p> <p>代表取締役 中村 政勝</p> <p>市川市八幡三・六・一 〇四七・三二二・三八三三</p>	<p>(株)NTT東日本 千葉 京葉営業支店</p> <p>支店 長 菅谷 敏夫</p> <p>船橋市湊町二・六・三三 〇四七・四三三・一一三二</p>
<p>(株)北善</p> <p>代表取締役 北川 善剛</p> <p>市川市八幡四・一七・二六 〇四七・三三五・五七五四</p>	<p>(株)きたざわ</p> <p>代表取締役 社長 北澤 徴</p> <p>市川市南大野三・二二・三 〇四七・三三八・七七二二</p>	<p>菊原公認会計士事務所</p> <p>代表 表 菊原 栄三</p> <p>市川市南行徳三・一・二 〇四七・三九五・八五四一</p>	<p>(有)金子薬局</p> <p>金子 道彦</p> <p>市川市市川一・六・一四 〇四七・三二二・二四二〇</p>	<p>(株)加藤新聞舗</p> <p>(株)市川よみうり新聞社</p> <p>代表取締役 社長 加藤 憲一</p> <p>市川市市川二・四・九 〇四七・三二六・六一〇九</p>
<p>土と水のコンサルタント (株)国際技術コンサルタント</p> <p>代表取締役 中村 政邦</p> <p>市川市新田五・四・四 〇四七・三二六・五九五</p>	<p>(株)弘文社</p> <p>代表取締役 湯浅 秀俊</p> <p>市川市市川南二・七・二 〇四七・三二四・五九七七</p>	<p>(株)京葉VIPエンタープライズ</p> <p>代表取締役 渋谷 晴光</p> <p>市川市田尻四・一・八 〇四七・三七八・八八三三</p>	<p>京葉ガス(株)</p> <p>取締役社長 佐久間 信夫</p> <p>市川市市川南二・八・八</p>	<p>(有)グレン・ド・ポータ</p> <p>代表取締役 社長 田村 和一</p> <p>市川市八幡二・七・六 〇四七・三三五・四五九八</p>

<p>代表取締役 社長 長</p> <p>南雲 誠</p> <p>市川市原木二、一、一五 〇四七、三二七、四四八〇</p>	<p>代表取締役</p> <p>中山 忠三</p> <p>市川市大和田四、一九八 〇四七、三七八、三二二六</p>	<p>代表取締役</p> <p>中野 栄吉</p> <p>市川市市川南四、八、一四 〇四七、三二四、三三〇一</p>	<p>代表取締役</p> <p>中基 實</p> <p>市川市本塩二、一、三 〇四七、三五七、二〇六一</p>	<p>代表取締役</p> <p>富川 幹夫</p> <p>市川市堀之内一、二〇、一 〇四七、三七二、七二一〇 〇四七、三七二、八九七七</p>
<p>代表取締役</p> <p>菱 孝</p> <p>市川市東浜一、二、四 〇四七、三二七、五八六〇</p>	<p>代表取締役</p> <p>野村證券(株)市川支店</p> <p>市川市市川一、六、一九 〇四七、三二一、三八一一</p>	<p>代表取締役</p> <p>篠原 武義</p> <p>市川市市川一、二七、八、二F 〇四七、三二二、六一〇三</p>	<p>代表取締役</p> <p>岸本 幸子</p> <p>市川市押切三、一、一〇三 〇四七、三〇〇、四八八八</p>	<p>代表取締役</p> <p>古川 昇</p> <p>市川市湊一七、八 〇四七、三五七、六二〇八</p>
<p>代表取締役 会長</p> <p>青山 正</p> <p>市川市行徳駅前二、一七、五 〇四七、三五七、四七八〇</p>	<p>代表取締役</p> <p>加藤 金蔵</p> <p>市川市真間四、五、七 〇四七、三七五、三八六一</p>	<p>代表取締役</p> <p>福田 雅夫</p> <p>市川市南八幡二、二二、一六 〇四七、三七〇、八一三四</p>	<p>代表取締役</p> <p>林 泰宏</p> <p>市川市市川四、八、一三 〇四七、三七二、〇一三一</p>	<p>代表取締役</p> <p>関根 豊</p> <p>市川市鬼高三、一三、一 〇四七、三七〇、七五四二</p>
<p>代表取締役 会長</p> <p>内山 明夫</p> <p>市川市相之川三、二、一三 〇四七、三九六、二二一一</p>	<p>代表取締役</p> <p>村岡 実</p> <p>市川市南八幡四、六、五 ラ・ファイネ市川一F 〇四七、三七八、七七四六</p>	<p>代表取締役</p> <p>羽田 安雄</p> <p>市川市市川南一、七、八 〇四七、三二二、四三六五</p>	<p>代表取締役</p> <p>水野 茂</p> <p>市川市国府台四、六、二一 〇四七、三七二、〇一一一</p>	<p>代表取締役</p> <p>小野田 莊平</p> <p>市川市大洲三、二一、一 〇四七、三七八、〇一〇一</p>
<p>代表取締役 会長</p> <p>原 一公</p> <p>市川市八幡二、五、二 〇四七、三三四、三三三一</p>	<p>代表取締役</p> <p>山中 右次</p> <p>市川市八幡四、一、六 〇四七、三三二、五五一五</p>	<p>代表取締役</p> <p>林谷 宏一</p> <p>市川市市川一、九、二 〇四七、三二四、三三六一</p>	<p>代表取締役</p> <p>佐藤 フジエ</p> <p>千葉市美浜区ひび野一、一 〇四三、二九六、三一一一</p>	<p>代表取締役</p> <p>森井 康夫</p> <p>市川市南八幡二、一六、二〇 〇四七、三七八、二四二四</p>
<p>代表取締役</p> <p>渡邊 勉</p> <p>市川市富浜二、一、二〇五 〇四七、三九六、五三八六</p>	<p>代表取締役</p> <p>田中 啓一</p> <p>市川市東菅野三、二一、五 〇四七、三三四、二二二二</p>	<p>代表取締役</p> <p>宮内 浩美</p> <p>江戸川区桜四、一七、三、二〇九 〇三、三六五、七三七四</p>	<p>代表取締役</p> <p>梅村 陽一郎</p> <p>市川市市川南一、九、二三 京葉住設市川ビル5F 〇四七、三二五、七三七八</p>	<p>代表</p> <p>若張 則男</p> <p>市川市南八幡四、七、一二 ラ・パシフィックB 1 〇四七、三七〇、一二三四</p>